

平成 30 年度 研究成果報告書  
Research Achievement Report FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジアⅡ講座 准教授
氏名 Name	菅原由美
専門分野 Academic Field	インドネシア史

主たる研究テーマ Principal Research Subject	ジャワ語文献にみるジャワのイスラーム化再考
<p>今年度は「ジャワ語テキストにみるジャワの宗教変容」第 2 期（東京外国語大学アジアアフリカ言語文化研究所/ILCAA 共同研究プロジェクト）、および「ジャワ語文献にみるジャワのイスラーム化再考」（科研基盤 B16H05662）の 3 年目にあたり、6/30~7/1 に、インドネシア、オランダ、オーストラリア、イギリス、ドイツから 9 名のスピーカーおよびコメンテーターを迎え、阪大豊中キャンパスで、国際シンポジウム “Transformation of Religion as Reflected in Javanese Texts (2): Rethinking the Process of Islamization” を開催した。</p> <p>本シンポジウムにおいて、現存する中で、最も古いジャワ語イスラーム写本の一つ、16 世紀の『Seh Bonang の書』について、“Sunan Bonan’s teaching: Theology and Sufism in 16th Java” というタイトルで発表した。本シンポジウムの議論で貴重な意見をもらい、その後も、この写本についての研究を継続し、3 月に Visiting scholar として、イスラエルのヘブライ大学（Hebrew University of Jerusalem, Israel Institute for Advanced Studies）で行われていた研究 “New Directions in the Study of Javanese Literature: Reassessing ideas, methods and theories in the study of the literature of Java, Indonesia”（Initiator: Ronit Ricci）に参加し、同写本研究について、再び発表の機会を得た。本研究の最終結果は、来年 7 月オランダのライデンで開催される国際会議 iCAS11 でパネル発表をおこない、AA 研の Javanese Series として出版する予定である。</p>	